

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	予算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第2委員会室
			担当職員 佐藤
日 時	令和3年3月16日(火曜日)	開 議	午後 0 時 30 分
		閉 議	午後 3 時 53 分
出席委員	◎赤坂、○奥野、田中、小川、藤本、木曾、菱田		
出席理事者			
出席事務局	山内事務局長、佐藤主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名

会 議 の 概 要

1 2 : 3 0

1 開議

(赤坂分科会委員長あいさつ)

2 市長質疑項目について

<赤坂委員長>

市長質疑項目について、委員の皆さんに緊急にお集まりいただいた。

市長質疑項目で抽出している、サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援事業（以下「実証支援事業」という。）について、内容がよく分からなかったもので、昨日市長に直接話を聞きに行った。その内容を委員の皆さんで情報共有し、本日の市長質疑に臨みたいと思うのでよろしく願います。

この実証支援事業はもともと、仲山前副市長から経済産業省の職員である豊川氏を紹介されたことから始まり、豊川氏が発案したのが実証支援事業であった。豊川氏はこれまで、三重県や仙台市で実証支援事業を手掛けており、各地に新産業創出のためのネットワークをもっており、亀岡市に週1回参与として来ていただいた。豊川氏からの提案に、最初は市長も「市民の税金を無駄にはできない」と考えておられたが、経済産業省で培ったネットワークを生かして、人を集めることができるのではないかと、また、せっかくスタジアムというすばらしい施設があるのだから、それを活用し、魅力を引き出し、次の産業に結びつけたいという強い思いを持たれて、この実証支援事業を実施することになったようである。このようなことを念頭に置きながら、市長質疑をしてもらえればよいと考える。

次に、川の駅についてであるが、マイクロバスが通れるように道路整備も考えておられ、あそこをうまく使っていききたいとのことだった。ラフティングだけではなく、BBQや小学生のスポーツ実習など、今意見を出してもらっているところであるとのことだった。そのように、しっかり運営できるようにしていきたいとおっしゃっていた。

最後に、無料駐車場については、民間が有料駐車場を設置しているので、公営の無料駐車場を造ることはできないとおっしゃっていた。今後、サッカー以外のイベントが増えるようであるのなら、保津川水辺公園の無料駐車場を利用していただいて、そこからシャトルバスを出すようなことも考えていきたいと言っていた。

<藤本委員>

今話を聞いて、納得しろと言われても難しいが、予算化して、本当に儲かるかどうかやってみないと分からないので、市の姿勢を見て、予算を認めるかどうかであると思う。絶対成功するのと言われても、市も返事のしようがないと思う。

<赤坂委員長>

分からなければ、どんどん質問していただければよいと考える。やるのはよいが、連携が取れなければしっかりできないと思う。どうして組織を作るのかが分からないし、何でも丸投げだから駄目だと思う。

<藤本委員>

担当者が理解できていないから問題である。

<赤坂委員長>

豊川氏を産業建設常任委員会の委員に紹介していただきたいと、市長にお願いしておいたのでよろしく願います。

12 : 38

<休憩 12 : 38 ~ 15 : 45 >

2 委員間討議

[なし]

3 討論～分科会採決

[なし]

[採決]

- ・ 第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計予算（所管分）
可決・全員
- ・ 第6号議案 令和3年度亀岡市土地取得事業特別会計予算
可決・全員
- ・ 第8号議案 令和3年度亀岡市水道事業会計予算
可決・全員
- ・ 第9号議案 令和3年度亀岡市下水道事業会計予算
可決・全員

15 : 47

[指摘要望事項]

<小川委員>

説明は的確に分かりやすくしてもらいたいのと、説明資料は事前にほしいと指摘要望していただきたい。

<木曾委員>

理事者は事業内容をしっかりと把握して、説明しないと私たちは理解できないので、そのことを入れていただきたい。

<赤坂委員長>

事業の広報を分かりやすくしてもらいたいということも入れたい。

<藤本委員>

市長や部課長は内容をお互い理解して説明しなければ、分からない内容のものを予算をつけたので、賛同してくれというのは無理がある。

<赤坂委員長>

それらのことを委員長報告の中に、指摘要望として取り扱うこととしてよいか。

(了)

<赤坂委員長>

文言等は正副委員長に一任願う。次回は3月17日(水)、午前11時から委員会を開催し、委員長報告の確認を行う。

～散会 15:53